

子育てが楽になる！ 発達障がいのための ペアレントトレーニング

～「見てるよビーム」と「出来たねシャワー」で
自己肯定感が育まれる～

＊潜在意識の中に
プラスの言葉を入れる
＊子供のいいところを探す
＊見えないものを見る力を持つ
＊自己肯定感の現状と大切さ



はたの ふきこ
講師 羽田野 富喜子先生

講師プロフィール

教師生活33年（内、特別支援学級3年）

一貫して教育の仕事に携わる。「自己肯定感を育む学級、感動ある授業の創造」を目指して実践。1000人以上の子どもたちと関わり、子どもの心の声に耳を傾け、親と共に悩み考え、学校と家庭の連携を図りながら「子育て支援・保護者の自分育て支援」を行い現在に至る。

また、親向けの子育てワークショップや講演活動、障がい児セミナー、美濃市・関市教育委員会から講座を任せられ教師指導講師を務める。

“子供を幸せに導くためには、自分自身が幸せになる事”をモットーに、これまでの経験から『自己肯定感』に着目し、「生きる力」を引き出してみんなの中で輝いていける存在になるために、何に気づきどのように生きることが大切かなど、親子で幸せに生きる生き方を提案している。

入場
無料

平成28年

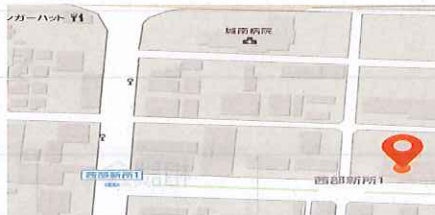
9月17日(土) 定員 50名

14:00～16:00

申し込み先着順に受付
定員になり次第受付終了

受付開始 13:30

会場：笑顔グループ本社4F
場所：岐阜市茜部新所 1-98-2
電話：058-214-8110



駐車場は数が限られますのでなるべく公共交通機関または乗合せてお願いします。
J R 岐阜駅から城南病院前で下車徒歩 1分

主催：株式会社笑顔グループ/放課後等デイサービス笑顔学園
後援：岐阜市教育委員会/羽島郡二町教育委員会

発達障がい理解のために

「発達障害」は、身近にあるけれども、社会の中で十分に知られていない障害でした。また「発達障害」のある人は、特性に応じた支援を受けることができれば十分に力を発揮できる可能性があります。従来はその支援体制が十分ではありませんでした。このような背景を踏まえ、発達障害について社会全体で理解して支援を行っていくために、平成17年4月から「発達障害者支援法」が施行されています。

自閉症

急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると不安になり動けなくなることがよくあります。そんな時、周りの人が促すと余計に不安が高まって突然大きな声を出してしまうことがあります。周りの人から、「どうしてそんなに不安になるのかわからないので、何をしてあげたらよいかわからない」と言われてしまいます。でもよく知っている場所では一生懸命、活動に取り組むことができます。



アスペルガー症候群

他の人と話している時に自分のことばかり話してしまったり、相手の人にはっきりと「もう終わりにしてください」と言われないと止まらないことがよくあります。周りの人から、「相手の気持ちが分からない、自分勝手にわがままな子」と言われてしまいます。でも、大好きなことになると、専門家顔負けの知識をもって、周囲から感心されたりします。

注意欠陥多動性障がい

大事な予定を忘れて、大切な書類を置き忘れてすることがよくあります。周りの人にはあきれられ「何回言っても忘れてしまう人」と言われてしまいます。でも、気配り名人で困っている人がいれば誰よりも早く気づいて手助けすることができます。

学習障がい

会議で大事なことを忘れまいとメモをとりますが、本当は書くことが苦手なので、書くことに必死になりすぎて、会議の内容がわからなくなることがあります。後で会議の内容を周りの人に聞くので、周りの人から、「もっと要領よく、メモを取ればいいのに」と言われてしまいます。でも、苦手なことを少しでも楽にできるように、ボイスレコーダーを使いこなしたりと、他の方法を取り入れる工夫をすることができます。

障がいについての誤解

「発達障がいは能力が欠如しているから、ずっと発達しない」

「発達障がいは一つの個性なので、配慮しないままでもそのうち何とかなる」

発達障がいは「先天的なハンディキャップなので、ずっと発達しない」のではなく、発達のかたに生まれつき凸凹がある障がいです。

人間は、時代背景、その国の文化、社会状況、家庭環境、教育など、多様な外的要因に影響を受けながら、一生かけて発達していく生物であり、発達障がいの人も同様であると考えていいでしょう。つまり、成長とともに改善されていく課題もあり、必ずしも不変的なハンディキャップとは言い切れないのです。もちろん個人差はありますが、「障がいだから治らない」という先入観は、成長の可能性を狭めてしまいます。

周囲が彼らの凸凹のある発達のかたを理解しサポートすることにより、

「ハンディキャップになるのを防ぐ可能性がある」という視点をもつことは重要です

出典：厚生労働省「発達障害の理解のために」

発達障がいの子育てワークショップ参加申込用紙

ふりがな			
お名前			
お子さんの学校		学年	
ご住所			
電話番号	相談会	参加	不参加 ・ 未定

※ご記入いただいた個人情報につきましては、ご連絡時のみ使用いたします。

《お申込み》 F A X 058-214-8112 《お問合せ》 ☎ 058-214-8110

